



# まちづくりサポート

まちづくりサポート通信 第3号 第2回公開審査会

発行 2000年2月

## 第1部

### プレゼンテーション

1. 江都天下祭研究会 神田倶楽部
2. TOKYO住環境研究会
3. 飯田橋地域の開発を考える会
4. SU (ス)
5. 『みらい』都心居住促進研究会
6. まちづくり神田工房
7. 外堀遊縁研究会  
(元牛込見附復活検討研究会)
8. 神田市場研究会
9. 江戸ゆかりの山車フォーラム  
実行委員会
10. 歴史・文化のまちづくり研究会
11. 千代田健康活動クラブ「チャオ」
12. 人のいる広場・道づくり研究会
13. 「水辺の自然を活かす」素粒土IV  
(ソリューション)
14. まちづくり走り屋"道楽衆"
15. QQT
16. 付置住宅研究会
17. 神田探偵団
18. 番町文学会
19. ミロシティ映像情報都市研究会  
情報環境部会
20. 花咲かじいさん
21. 都心で豊かな老後を築く会
22. 都市に対する美意識(あこがれ)の  
修復研究会

## 第2部

### 討 議

### 審査員講評

開催日時  
平成11年10月30日  
午前10時より  
午後5時まで

開催場所  
神田さくら館研修室

\*記録テープから起稿したものを事務局の責任において編集しました

### 千代田区まちづくりサポート審査会委員

会 長	卯月 盛夫	早稲田大学教授
副会長	北沢 猛	東京大学助教授
委 員	伊東 敏雄	公社賛助会員
委 員	三枝 敏男	公社評議委員
委 員	平岩 千代子	電通総研・副主任研究員
委 員	森 まゆみ	作家・地域誌編集人
委 員	山崎 芳明	千代田区都市計画課長

「千代田区のまちに活気を取り戻し、魅力的な住みよい環境づくりを“市民”の手で」という街づくり公社事業、『千代田まちづくりサポート』の第2回目の審査会は、昨年10月30日(土)午前10時から、神田さくら館の研修室で行われました。選ばれたグループ数は前年と同数の15。助成金総額も同額の300万円ですが、今回は、活動内容などによって1グループ当たりの金額は、5万円から41万円と大きく分かれました。



第2回サポート事業に応募したのは、第1回に引き続き挑戦した12グループと、新規応募の10グループの計22グループ。今回も完全公開方式の審査が行われました。各グループの代表が、持ち時間の3分間以内で活動内容や方針を発表。午後の質疑応答を経て、7人の審査委員の投票による助成金額の提示、“復活折衝”が行われ、別表の継続10、新規5の計15グループが確定しました。初応募の中には新しい発想のものもあり、テーマの幅が広がりました。

この事業は、より多くのグループにチャンスを与えるためにも1グループに対する助成は3年が限度ですが、「卒業」はまちづくり活動から離れることではなく、これを機にさらに羽ばたいてほしいというのが願いです。助成から“卒業”したグループを助成団体とは別枠で“登録団体”として、サポート事業の輪を広げることも今後の検討課題にしています。



以下、発表順にその要約を掲載します。

### プレゼンテーション

1 祭りを通しての「まちおこし」活動、ならびに関連する資料の収集出版

江都天下祭研究会  
神田倶楽部

これまで、実地の見学会や多彩な講師の方々を招いて勉強会をしてきた。

結論としては「神田祭」は会員同士がお互いに心を通い合わせることでできる財産であり、それを盛大に復活させていくこと

が、地域住民の団結になると確信した。また、下町の伝統文化を受け継いだ文化交流都市を、まちづくりの基本として目指す。

特に来年度は山王祭の本祭にあたる年なので、懇談会を開き、麹町地区との交流、相互理解を深めていきたい。

2 富士見・飯田橋・九段のまちなみ  
1980～2000年の記録と研究



TOKYO住環境研究会

前年の活動を踏まえて、2000年を迎える今期はCD-ROMによる記録集作成を最終目標にする。具体的には、まず前回取り組んだ映像記録を完成に近づけ、

トライアル版を作成したCGによる町並み再現は、地域と時期を拡大し完成する。写真比較による研究は拾い出したキーワードの総合的分析を行う。また、デジタルビデオによる現状記録は、記録報告会を検討している。

一期では十分に行えなかった文献(行政資料)、各種のデータ収集と分析をしたい。今期は記録集のCD-ROM化のため、マルチメディア関係の専門家を2人加えた。成果を順次ホームページに掲載することは引き続き行う。

**3** 飯田橋 JR 貨物関連用地の開発に伴い、どのような開発が望ましいか? また、飯田橋地域にどのような効果・影響があるか?



### 飯田橋地域の開発を考える会

前年の活動では飯田橋 JR 貨物跡地再開発に、私達がどういった提案ができるかを勉強してきた。その結果、飯田橋全体を変えていく必要があると気づき次の提案を行う。

① JR 飯田橋駅の駅舎をリフォームする ②日本橋川の親水性の向上。人が歩ける明るい橋にしたい ③ハートフルな再開発の実現。皆が住みたくなるまちにしたい ④再開発されたまちが、変わるべき既存のまちとつながり、行き来のできるまちにしてほしい。

今年は地域の方に参加してもらうため、アンケートをとる。平成 15年に飯田橋の再開発が終わる予定なので、それまでに20年、30年先のことも考えて提案のメドをつけたい。

**4** フリースペースによる都心のコミュニティづくり



### SU (ス)

自宅開放フリースペースとしての場づくりはできたので、今回はここを拠点にコミュニティづくりをしたい。また、まちに出て活動することを考えた。

実際の企画、運営目標は、何かを作りながら地域のネットワークづくりをすることと、子供のワークショップを開くことの2つ。具体的には、若い人達とゴミ問題の勉強会をしたり、子供達とは児童館の協力得て土の植木鉢や、屋上で花壇をつくる。

フリースペースから、土と緑の輪がまちへと広がることを願う。さらに、土壁の制作をロンドンでやる予定なので、子どもたちをベースにした国際交流の活動もしたい。

**5** 神田地域での定住促進のしくみづくり  
- 共同化を見据えて -



### 『みらい』都心居住促進研究会

前はアンケートや勉強会などで地域との交流を深めた。都心定住への意思はあるが、総論賛成、各論反対が多い。

実際に人が住むには、賃貸、分譲住宅が必要になる。まず家賃が高いことがネックである。また新しい住民がコミュニティに入れず祭りにも参加しない。

神田地区を中心にこれらの問題をどう解決するか考えていく。具体的に居住者の方から相談を受けたので、モデルケースを作っていく。定期借地権と共同化の問題、コミュニティ、コーポラティブ等を検討していく。たとえば、建物の中でいかに住民が交流するのか。昔の浮世

風呂、浮世床などの現代版を作れないか試みたい。

**6** 街にぎわいをもたらす公道(みち)の使い方を考える



### まちづくり神田工房

都心の公共空間の中でも公道に焦点を当てて考える。公道は単なる移動空間ではなく、オープンカフェ、屋台、朝市、露店、大道芸等、訪れる人が楽しめ、まち全体に賑わいをもたらす使われ方もあるはずである。

活動は「調べる」「見る」「聞く」の3つをポイントに絞る。「調べる」では、神田のまちの公道の歴史、道路使用の制約条件、法的条件を勉強する。「見る」は実際に神田のまちを視察し、その使われ方や、他地区を視察して学びたい。「聞く」は、商店街や大道芸の人達にヒヤリングを行う。

まちに賑わいをもたらす公道の使われ方を考え、問題点を指摘し、提案していきたい。活動は市民に浸透したものにしたいので、イベントやかわら版の発行も計画している。

**7** 続”牛込見附をいかした地域観光まちづくり



### 外堀遊縁研究会

(元牛込見附復活検討研究会)

活動の大筋は、現在、無用の長物化しつつある国指定史跡牛込見附の価値を見直し、地域活性につなげる方法を研究する。

①牛込見附周辺の保全と風致美観を思索していく ②国指定史跡の保存、残存石垣の修復と牛込御門復原の調査研究を進める

③周辺町並を改良し、かつての原風景や屋敷町の形象をとりいれる ④地域観光商業の創造、復原活動を支える見附グッズや門前市の検討 ⑤郷土史の伝承のため、富士見地区の成立の過程を編纂する。

以上のうち、今年は特に①～③に力をいれていきたい。

**8** 市場としての神田



### 神田市場研究会

神田の魅力は市場という観点で昨年より深く研究したい。

①秋葉原を中心とした電気街 ②神保町などの印刷・出版・書籍街 ③岩本町などの繊維、衣料街。

主に上記の業種別の見取り図はできたが、やり残したプロット作業を今年は完成に近づける。次に「書を捨ててまちに出よう」の精神で、ヒアリング・マラソンを行う。地域の産業連関、分業体制、業種の細分化の過程などを調査・分析し、その成果を地域と共有することをめざす。

**9** 新天下祭フォーラム 2000



### 江戸ゆかりの山車フォーラム実行委員会

過去2回のフォーラムで地域ネットワークもでき、結束も固くなった。インターネットの導入で、千代田区の魅力を世界へ発信することもできた。

地域に伝わる昭和初期からの山車の再認識で、地元誇りがもてるようになったと思う。

今年は、大きなステップとして、いよいよ千代田区の新しい祭り創造に迫りたい。2003年の

「江戸開府400年」を目指し、「新天下祭」に、錦絵にあるようなすばらしい山車を再現したい。そうした活動を通してのまちづくりができればと思う。

## 10 神田における歴史を活かしたまちづくりの為に容積率移転の可能性の検討



### 歴史・文化のまちづくり研究会

前回の神田多町を中心とした調査で、181棟の歴史的建造物の残存が判明。殆どが震災復興期の昭和初期の建物で、地域の個性を活かしたまちづくりのために保存すべきものが多い。

神田地域は非常に容積率が高く、600~700%のものもある。今回はそうした地域の特性を活かしていく方法を探っていきたい。たとえば、個別にはなく地区毎に容積率移転の可能性を検討する。

具体的には、保存と活用を行いたい建物を選定し、その実測調査、実際の手法を検討する。新しい物を作るだけでなくまちづくりではないと考えている。

## 11 健康づくりナビゲーションマップの充実と手軽な健康づくりネットワークの拡大



### 千代田健康活動クラブ「チャオ」

ナビゲーションマップは8枚中4枚できたので、残りを完成させる。次にこのマップを多くの人に使ってもらうための活動と仲間づくり。日本健歩協会や区内外のウォーカーに使っても

らう。ただ配るだけではなく、一緒に歩く会の実施をしたい。

大きなイベントでなくても、健康づくりプログラムの一環としてやる。「千代田区を安く手軽に楽しもう井戸端会」のようなプログラムを発表し、継続してやっていく。

## 12 人のいる魅力的な緑ある広場・道づくり



### 人のいる広場・道づくり研究会

昨年引き続きテーマだが、番町麹町で高層ビルの建設が始まり、高度制限、樹木の様子や水系などの問題がある。

新住民には、かつてのまちの記憶もないため、そうしたまちの変貌と危機はなかなか認識されない。しかし、前回の活動で出会った方々の中には、貴重な声を上げてくださる人もいたので協力し合っていきたい。

まず、清水谷公園からプリンス通りにかけての遊歩道(回遊路)の提案。現在弱り始めている上智大学沿いの桜並木や土手の緑を育成。後半は一番町柳川通りの活性化に取り組みたい。

ここまでが昨年からの継続グループです。

\*\*\*\*\*

ここから今年の新規グループです。

## 13 「水辺と緑の自然を活かす」景観演出ソリューション



### 「水辺の自然を活かす」素粒士IV(ソリューション)

国際都市東京での中心的なま

ちとしての千代田区。水辺計画は「千代田区景観マスタープラン」にもあるが、現実はどうか。

江戸開府以来400年間、最大の水辺と緑は、皇居を取り巻く二重の濠であり、それはかつて軍事を目的としたものであった。それを江戸-東京の歴史を伝える水辺の緑と自然を活かす方法として探ってみる。

同時にホームページを使い広く意見、情報を集め発信して、最終的には水辺と緑の演出の提言まで作ろうと考えている。

## 14 ジョギングコースが「まちづくり千代田」を活かす



### まちづくり走り屋 "道楽衆"

皇居外苑周回コースは国内外の市民ジョガーに人気があり、交番や照明トイレ設備が良く、特に女性に安全で安心なコースとして評判が良い。

ニューヨーク等の先進都市は道路、公園などのジョギングインフラの重要性を認識している。私たちは、①皇居周回コースを走るジョガーの調査分析 ②国内外のジョギングコースを調査・分析し、参考となる要素の選定 ③ジョガーのワークショップを開き、コースの魅力、要望等話し合う ④皇居周回コースにつながるコースのネットを見つけ提案する ⑤ジョギングを活かすまちづくりを提言する。

## 15 街づくり救急隊の構想と実践



### QQT

13年続いた万世橋街づくり協

議会のメンバーOB(平均在席7年)により、救急隊(QQT)を結成。さらに地域に密着したまちづくりを考えていく。

まず、まちづくりグループの会則作りをする。日頃からまちづくりに関する情報を収集し、月例会を開き各自の提案を検討していく。また、トラブル発生時に備え救急時の対応策を立てて実施計画を練り、日頃から待機、機能維持訓練集会など具体的に行動する。常に自由な立場で提案や発言をしていきたい。

## 16 神田地区の付置住宅等に居住する新住民の地域との関わりの可能性に関する基礎調査



### 付置住宅研究会

付置住宅は都心に居住する人口を増やすための制度だが、積極的に計画されることは少ない。しかし都心居住の一形態としては無視できない。居住者の多くは新住民で地域に関わりを持ちにくいのが現状である。

相互のコミュニケーションを図るには、居住者のライフスタイルと意向の把握が必要である。そこから新旧住民の関わりを探り、新たなまちづくりの提案の基礎資料作りを目的とする。

まず分布状況の調査。ついで、居住実態調査とその結果の分析とまとめをしていきたい。

## 17 「子供たちに…神田」



### 神田探偵団

神田多町を中心に祭りと市場のことを調べている会で、今回は神田そのものを、21世紀のま

ちづくりを担う子供達に知ってほしいというのがねらい。

「郷土を知ることは、やがて現在に強く生きることである」という言葉のとおり、地域の文化、歴史などを継承していく大切さを伝えたい。

具体的には、神田祭りごとに、昔の写真をデジタル画像処理し説明をつけて、神田多町のお祭り掲示板に貼り出す。また子供達の意識調査をする。

「神田倶楽部」や「江戸ゆかりの山車フォーラム委員会」との交流、情報や写真の提供を行い、講演会やフォーラムにも参加し、見聞を広めている。

## 18 番町文学地図の作成 (第1期は六番町中心)



### 番町文学会

まちの文化遺産を記憶しながら、まちづくりを進める会の意味である。私たちが住む六番町には明治から昭和にかけて島崎藤村、泉鏡花、有島武郎、などの文学者が住んでいた。しかし、戦災でその住居跡はすべて失われ、その痕跡すら消えていく現状である。文化の香りに満ちた地域の特色をまちづくりに活かしたい。

麹町を含む番町地区の作家たちの旧宅マップ作成と跡地に記念プレートを設置し、最終的には番町文学館の設立を目指す。

まず作家別に調査し研究会で発表。一般参加を募って講演会を開催する。年1回、研究誌を発行し住民の理解を得て文学碑、文学館の設置を促進する。

## 19 千代田区における次世代型情報環境の構築



## ミロシティ映像情報都市研究会 情報環境部会

千代田区に次世代型情報環境の先導的、先鋭的なモデルを作りまちづくりの一環とする。

まず、フィールドワークとして電話、TV、放送などの情報ネットワークの現状調査。および、そのデジタル化に対する問題や住民の要望と期待や、デジタルコンテンツによる利便性と娯楽性への希望を知る。

千代田区は特に、丸の内や神田、秋葉原など世界的にも最大の情報を持っている地域があるところなのでモデル作りとして最適の条件を備えている。

以上のことを、ワークショップ、さらにシンポジウムなどで、議論し提案していきたい。

## 20 花の架橋で心豊かなふれあいまちづくり



### 花咲かじいさん

千代田区は緑はあるが花はあまり見かけられない。駅にもゴミが溢れている。しかし、花の好きな人たちはおり、街路樹の根元に住民が花を植えて育てている。そこでは花を通して会話が弾み、子供達も喜んでいる。

私たちはまず、飯田橋西口の早稲田通りから靖国通りに向け、プランター300個の花で一杯にする計画をたてた。花づくりの勉強会もしてきた。まちがきれいになり、心豊かに人と触れ合えるように学校、町会、企業が三位一体となって活動するための話し合いを進めていく。

講演会やミニコミ誌の発行、年1回の花のコンテストも開きたい。暖かい血の通った向こう三軒両隣を取り戻す活動である。

## 21 高齢者が安心して住めるまちづくりと、支援交流の場づくり



## 都心で豊かな老後を築く会

車椅子生活になっても元気に外出できるようなまちを願い、活動計画をたてた。バリアフリーのまちを目指し区の土木課の協力を得て、車椅子で道路調査をしたい(番町中央通り)。

将来的には、在宅介護者の利用しやすいネットワーク、支援、交流の場を築きたい。高齢者予備軍は介護する側に居る時から、経験を積みつつ、健康時と同じ生活ができる準備を進める。

ワークショップとして、いましなくてはならないことは何か、いまから心掛けておきたいことは何か、専門家に教えてもらう勉強会をする。イベントは配食サービスを現在受けている人を対象にお食事を兼ねたお楽しみ会を計画、その参加状況を調査検討する。不参加の人の状況も分かればよいと思う。

## 22 都市に対する美意識(あこがれ)の修復



### 都市に対する美意識(あこがれ)の修復研究会

私が生まれ育った九段の街を例にとると、40年前とはすっかり変わり、歴史の香りある美しい街並みが失われてしまった。故郷を離れたとき、それを痛切に感じ、また、建築の勉強をして戻ってみると今度は被害者ではなく、加害者の立場にいることを知った。

そこで、なんとかしたいと思い、会を設立した。ボランティア活動を国際的に学んだ経験を、実際に千代田区でのボランティアを通して活かしたい。メンバーが各自行っている学習も活動の集約として発表したい。

## 討議

審査会では、午前中の発表を受けて午後は参加者を含めた討議を行いました。その上で、審査員が投票を行い、さらに1次評価が割れたグループについて再質問し補足発言に基づいて助成額の補正をして、最終決定しました。

午前中の発表の際も若干、審査員から質問が出ましたので、その質問も合わせて、以下に要約で掲載します。

### 江都天下祭研究会神田倶楽部

Q 仲良し倶楽部的なもの、そこから発展したまちづくりとの違いは。

A たとえば、勉強会においても、会員限定ではなく自由参加できる木戸銭方式にした。

Q この活動は具体的に、何年計画でどこまでやるのか？

A 今回が最後である。

\* この活動の文化的、経済的な波及効果を継続的に追ってほしい。

### TOKYO住環境研究会

Q まちの変貌を記録するうえで、資料や情報の収集方法は。

A 時期と場所を特定して集めるのが困難。近辺からは聞き書き的なものは収集できた。

Q ホームページを使うのか。

A それも使っていきたい。

Q 記録集はだれに使うつもりか。また、どうまちづくりに生かせると思うか。

A 住人に配ることと、未来でも役立つものを残したい。

### 飯田橋地域の開発を考える会

Q テーマが年に4つは多いのでは。未来のイメージは。

A 日本橋川に沿って桜並木を作り、川を浄化する。

Q 千代田区都市計画、景観マスタープランのフレームを追い、焦点を絞ってはどうか。

A 開発業者に具体的、実現可能な提案をしていきたい。

S U (ス)

- Q 子供を対象にする点で、神田探偵団との連携は。
- A ぜひ連携したい。緑化のテーマなどは可能だと思う。



- Q 「場」づくりは終わったのか。
- A 終わったわけではないが一区切りはついた。「場」づくりと並行して、まちへ出て活動を広げる計画をたてた。

「みらい」都心居住促進研究会

- Q 地元からのニーズとは。
- A アンケートの結果、50～60代の人が多く、子供がいない。高齢者介護などの問題から、人口の増加を図るしかないという意見が多い。
- Q 今年の核になるモデルは。
- A 区内の民間所有地で20～30坪の地主を集めて共同住宅を定期借地権で建てられるか検討したい。
- Q モデルケースの評価は。
- A まず、税制や法的な面から可能か、次に経済面や建築技術か

ら、いくつかのケースを考えてみたい。

まちづくり神田工房

- Q 昨年のテーマ、公園と公開空地はどうするのか。
- A 並行してやるが、今回は公道にスポットを当てる。
- Q 今回の調査のエリアはどこまでか。イベントの具体例は。
- A 主に神田地区で、オープンカフェやフリーマーケットを地元と協力してやりたい。
- Q せっかくの神田なので、古書店などの特色を生かしたテーマパークなどはどうか。
- A テーマを広げすぎても不可能なので、まずは足元からと考えている。

外堀遊縁研究会

(元牛込見附復活検討研究会)

- Q 昨年より活動が、勉強会に変わった感じがするが。
- A 地元の人との話し合いなどは進んでおり、むしろ逆だと思う。模型製作等に手間取ったのも事実。アンケート調査の実施と分析などは進んでおり、作業量は増えている。

神田市場研究会

- Q ヒアリング・マラソンの対象はどのような人たちか。
- A まず、会員の職場近くから始め

、出入りの会社の方やサポートで会った人から行う。

- \*ぜひ、キー・パーソンを決めることが重要かと思う。
- Q 成果を共有する冊子を作るそうだが、申請額が少ないのでは。
- A 予算内でやろうと考えている。

江戸ゆかりの山車フォーラム実行委員会

- Q サポートの助成は3年だけなのでその後をどうするのか。どこまで何を求めるのか。
- A 活動の基盤は区の支援であるから、サポートで認可されれば金額でない利点がある。
- Q すでに立派な活動をしているので、卒業してはどうか。
- A 2003年に卒業させて欲しい(笑)。活動の過程でやるべきことが山積している。

千代田健康活動クラブ「チャオ」

- \*今年少し疲れたようだが、マップを広め実用化するまで、元気をだしてやって欲しい。
- A 健康促進の関連企業や行政の生涯学習指導課、スポーツ振興課などにも働きかけて、共同



でなんとかしたいと思っている。

まちづくり走り屋 "道楽衆"

- Q サポートの助成があると活動にどういう違いが出るのか。
- A ワークショップ開催時の講師謝礼や海外の調査費用などに差がでる。
- Q ジョギングコースの整備や施設造りを考えているか。
- A コースは立派だが使われない。特に女性用の施設がほしい。

QQT

- Q 具体的に何をやるのか。当サポートは組織ではなく、テーマに対して与える。テーマを絞り込めないか。
- A 消防署の移転問題などの地権者の勉強会でも、自由な立場で発言したい。トラブルが起きたら解決を自ら買って出る集団でありたい。
- Q 情報の集約と発信の場所が不明。なぜ、まず規則づくりなのか。
- A メンバー個々に人的ネットワークがあり、それを整備したい。Eメールやインターネットの活用も考えている。

グループ名		第1次評価			第2次評価	申請額(万円)	決定額(万円)
		活動企画内容を支持し、今回のサポート助成が必要だと考える。	活動企画内容についてもう少し話を聞き、今回のサポート助成が必要か判断したい。	社会的に意義ある活動だが、サポートの助成趣旨にはなじみにくいと考える。			
1 江都天下祭研究会 神田倶楽部	継続	◎◎◎◎	○○○		☆☆☆☆☆	30	20
2 TOKYO住環境研究会		◎◎◎◎◎	○		☆☆☆☆☆☆	50	27
3 飯田橋の開発を考える会		◎◎◎	○	●●●	☆☆☆☆	50	18
4 SU		◎◎◎◎◎	○		☆☆☆☆☆☆	50	30
5 「みらい」都市居住促進研究会		◎		●●●●●●●	☆☆☆	43	12
6 まちづくり神田工房		◎◎◎◎◎◎◎			☆☆☆☆☆☆☆	40	28
7 外堀遊縁研究会(元牛込見附復活研究会)		◎◎◎◎◎	○		☆☆☆☆☆	50	41
8 神田市場研究会		◎◎◎◎◎◎◎			☆☆☆☆☆☆☆	7.7	7
9 江戸ゆかりの山車フォーラム実行委員会		◎◎◎◎◎◎	○		☆☆☆☆☆	50	14
10 歴史・文化のまちづくり研究会		◎		●●●●●●●	☆	35	—
11 千代田健康活動クラブ「チャオ」	◎◎◎◎◎◎◎			☆☆☆☆☆☆☆	50	29	
12 人のいる広場・道づくり研究会	◎◎	○	●●●●●	☆	41	—	
13 「水辺の自然を活かす」素粒子IV	◎◎◎	○○	●●	☆	50	—	
14 まちづくり走り屋"道楽衆"	◎◎◎	○○○○		☆☆☆☆	50	13	
15 QQT	◎◎	○○○	●●	☆☆☆☆	5	5	
16 付置住宅研究会			●●●●●●●●●		40	—	
17 神田探偵団	◎◎◎	○○○	●	☆☆☆☆☆	40	16	
18 番町文学会	◎◎	○○○○○		☆☆☆	25	11	
19 ミロシティ映像情報都市研究会 情報環境部会	◎		●●●●●●●	☆	50	—	
20 花咲かじいさん	◎◎◎◎◎◎◎			☆☆☆☆☆☆☆	50	29	
21 都心で豊かな老後を築く会	◎◎◎	○○○○		☆	16.9	—	
22 都市に対する美意識(あこがれ)の修復研究会		○	●●●●●●●		20	—	

Q 子供の意識調査とは、何についての、どういう調査か。

A 子供たちに伝える方法はパネルを設定。子供会や小学校のホールなどに掲示し、巡回していく。郷土についてのアンケートもしていきたい。

\* 子供を対象にではなく、主体にして何かできないか。また、学校の郷土史の時間などを活用してはどうか。

## 番町文学会

Q 番町文学館を造るというのは「箱もの」を造るということか。

A 最終的には文学館も建てたいが、まず、マップや文学碑から。ソフトから整備し、最後に収納するのが文学館だ。

Q 今年の予定は。

A とりあえず、ステップ1として、調査と研究会。特に六番町だけでもやりたい。島崎藤村などは何も残されてないので、まず検証から始める。

## 花咲かじいさん

Q 公共の場所を使うので、行政との関わりはどう考えているのか。

A 公園、学校の花壇、公開空地の利用を考え、提案したい。

Q 花のメンテナンスが大変だと思うが、どういうメンバーがやるのか。

A 集って下さった方で担当を分担し、名前をプレートに書いて依頼する。

## 総評

(卯月盛夫)

昨年スタートした「千代田まちづくりサポート」も、今回2回目を迎えました。2年目ゆえに応募数が減少するのではないかと心配しましたが、昨年の18に対して22の応募がありました。そのうち継続は12、新規が10でした。申請金額は10万円が1団体、50万円が10団体、総額843.6万円、予算300万円の2.8倍という状況で、はじめから大変厳しい選考が予想されました。

選考にあたっては、昨年からの継続グループと新規グループでは若干基準を変えることを審査員の中で事前に確認しました。そこで、発表の順番も継続と新規に分けて行いました。継続グループはすでに1年間活動しその成果を最終発表会で公表していますので、それをふまえて2年目の活動計画が、さらなる社会的意義があるか、そしてその実現性があるかを評価しました。一方新規グループは、むしろテーマの新規性や市民性を考慮しました。そして最終的に継続10グループ、新規5グループに助成することになりました。そこで今回の審査を振り返って、何点が感想を述べたいと思います。

まず、この「千代田まちづくりサポート」はひとつのグループに対して最長3年間の助成を限度としています。これは限られた金額の中で、初動期のまちづ



くり活動を支援することを目的としているからです。したがってある程度活動が軌道に乗ったら、より金額の多い財団の助成を受けたり、市民や企業の寄付を得たりして自立の道を探ってほしいと思います。継続グループは1年後または2年後、どんな形での卒業が可能かを是非考えてみてください。

公開審査会の過程で、「助成金よりも、活動団体の認定が重要ではないか」という意見が数人から出されました。ただ、まちづくりサポートの目的から「0円助成」というのは好ましくないので、むしろ公社の別なシステムで「まちづくり登録団体」という制度を作ったらどうかと思います。「まちづくりサポート助成団体」の予備軍や卒業組も、より幅の広い「まちづくり登録団体」として交流をしていったらどうでしょうか。

今回も、かつての「まちづくり協議会」メンバーを中心とする活動団体の申請がいくつも見られました。千代田区のひとつの特徴であるこの「まちづくり協議会」は、今後も継続的に活動していただきたいと思うのですが、このサポート事業で支援すべきかどうかは、実は審査員の中でもまだ結論が出ていません。次回までには調整をしたいと考えています。

最後に第1回助成を受けてかなり活発に活動していた「KAWAYA」グループの学生の方々が、今回の公開審査会の裏方として働いてくれました。このようなボランティアも是非拡大してほしいと思います。

が、精力的な研究会や各町内の御興や御飯屋などの調査が充実しており、その成果の活用や麹町、日本橋など他地区との情報交換や交流への展開が期待されます。千代田区の持つ文化的魅力をより多くの人に伝え、またどうまちづくりにつなげるのかを大いに議論してほしい。

## TOKYO住環境研究会

(山崎芳明)

前回の活動成果のうち『パブル以前と現在の写真比較』はとても興味深い。一方、『コンピューターグラフィックスによる「町並みの変貌」の再現』については、今ひとつその意図する方向がわかりづらかった。今回は、前回の成果と反省を踏まえ、CD-ROMによる「まちなみの記録集」を作成することである。記録集としての価値は相当高いものが期待できるが、今後、他地区での応用も含め、具体的な活用方法についても是非提案してほしい。

## 飯田橋地域の開発を考える会

(三枝敏男)

前年度の成果を拝見し随所に斬新なアイデアが取り入れられたすばらしい案ができたと思います。短期間でここまでまとめたグループの皆様方の熱意に敬意を表します。この成果をアイデアで終わらせないためにも2年目の活動が大変重要であると思います。地域の住民をはじめ企業や、JR、行政をどう動かしていくかが最大の課題です。単なる勉強会に終わらせないように、皆様の行動力に期待いたします。

## S U (ス)

(平岩千代子)

昨年度の助成金で、自宅を社会に開放するフリースペースの場として作り上げた「SU」。審査会当時は、本当にできるのかと半信半疑でしたが、生活空間に支障をきた



## 江都天下祭研究会 神田倶楽部

(北沢猛)

まちづくりの原点は、自分の町の歴史を知り文化を知ることです。そこに愛着が生まれ活動も広がるわけです。特に祭りは様々な意味を持っています。神田倶楽部は昨年からの継続です



しながら、計画を成し遂げた実行力は立証済み。今年は、コミュニティづくりを目指して子供たちも対象に入れて、フリースペースの活用にとどまらず、学校など地域にも出かけて土・植物を用いたワークショップを開催するという。参加者の声やそこから生み出される新たなネットワーク活動が成果をはかる重要な指標となることを念頭において、がんばってください。

### 「みらい」都心居住促進研究会

(山崎芳明)

前回の活動では、期待されていた都心居住を促進する具体的提案ま



ではには至らなかった。しかし、活動をとおして、地域の方々と交流が図られたことは大きな成果といえよう。そのような前回の成果を踏まえ、今回は、いよいよモデル事業計画の検討にはいるとのことである。建築物の共同化が大変難しく、また、これまで定期借地権の活用もほとんどないと思われる千代田区であるが、是非新たな都心居住の促進に向けた具体的提案をお願いしたい。

### まちづくり神田工房

(森まゆみ)

前回、公園を調査し、市民向けの案内「ひらけ玉手箱」をつくってくれたグループが今年は何にやるか。パブリックスペースとしての道を考えるという。道は人間はじめ生き物のためにあるが、現在の都心では細い道路までそのけそのけ車が入り込んでくる。道路交通法はじめ制約も大きかろうが、そこをどう突破して、都心らしい楽しく賑わいのある道にするかの提案が期待される。

### 外堀遊縁研究会

(元牛込見附復活検討研究会)

(北沢猛)

観光というと最近はおっほいイメージで捉えられてしまうのですが、本来は歴史的な資源を

正しく理解し楽しむという文化的行為であったはず。昨年の徹底的な歴史研究、特に復元図や復元模型は高く評価できる成果ですが、さらに周辺環境や町並みの保全整備、そして観光まで活動が展開してきたことにこの研究会の充実ぶりが伺えます。地元町内会の方々を始め活動を根づかせる一方で個性あるまちづくりへ具体策を期待しています。

### 神田市場研究会

(森まゆみ)

暇と実力に見合った無理のない行動力と仕事量で、前はデータづくりにかなりの成果をあげた。その業績をふまえ、今回はまちに入って人の声を聞こうという。神田に特有な業種でその仕事の構造や意味、それを支えるコミュニティの集積を調査するという。自然体とチームワークの良さが目立つチーム。データの中に人びとの恨みや喜びが浮き彫りにされればうれしい。

### 江戸ゆかりの山車

フォーラム実行委員会

(山崎芳明)

98年に続き、99年のフォーラムも成功裡に終わられたとのこと、敬意を表したい。今回は、さらに『新天下祭フォーラム2000』と題し、千代田区の新しい祭創造の核心へ迫っていくとのことである。千代田区のまちづくりにおける重要課題の一つは定住人口の回復であるが、住宅だけ造っても効果は上がらない。大切なことは、まちの魅力作りである。魅力のないまちには人々は集まらない。フォーラムを通して千代田区の魅力を大いにアピールしていただきたい。

### 歴史・文化のまちづくり研究会

(伊東敏雄)

前回の「千代田区歴史的建造物マップづくり」の継続研究なのだが、街づくりとの関連で、街の歴史を知ること、



歴史を物語るものを残すことの意味は大きいけれども、それだけに、「なに」を「どう」残すのかということを考える作業があって、その次にそれを実現するための法的手段、計画手法に入っていくのではないが。

容積率移転等の可能性が唐突に感じられたのが残念である。

### 千代田健康活動クラブ「チャオ」

(北沢猛)

自分の体力や健康状況に応じて選べるウォーキングマップ。着想もユ



ニークで、私もあちこちでこのマップを紹介しています。歩行者を中心にしたまちづくりは、今後の重要な課題でもあります。歩くことで町の良さや課題も見えてきます。マップを活用したイベントなども企画されていますので、参加者の意見も聞きながら健康をキーワードにした次なるステップを期待しています。昨年は同じサポートを受けた「神田の家SU」との連携した活動を行っていますが、さらにほかのグループとのネットワークを広げることも効果的です。

### 人のいる広場・道づくり研究会

(伊東敏雄)

草の根的な、主婦を中心にした街づくり活動として、大切にしていきたいグループである。「番町・麹町『満喫会』の旗揚げ」というテーマの継続活動で、実践のテーマを表記の様に提示している。それが、第1回の活動内容との継続性が十分でないという評価になったのかもしれない。継続の仕組みのプレゼンテーションが必要だったのではないだろうか。活動は是非継続していただき、新しいグループ、新しいテーマで、また挑戦してほしいと思う。

### 「水辺の自然を活かす」素粒子Ⅳ(ソリューション)

(伊東敏雄)

若い研究者や、会社員の、みずみずしい提案で、大変好感が持てた。テーマも今日的であり、ワークショップを中心とした活動方針も適切だと思う。千代田区景観マスタープランの深化を目指している姿勢も評価できるが、やや企業活動的な印象と、予算の大部分がホームページの立ち上げと維持に使われている点、評価を低くしたとも考えられる。千代田区内の具体的な水辺のフィールドワーキングから、より属地的な主題を抽出して、もう一度挑戦してみてはどうか。

### まちづくり走り屋「道楽衆」

(平岩千代子)

国内外のジョガーに人気のある皇居外苑周遊コースを中心に、ジョギングコースやジョギングインフラの整備についての提案を目指しています。グループの目指す夢が、千代田区らしいまちづくりのひとつのビジョンだと思わされるプレゼンテーションでしたが、実施計画の荒さが気がかりです。メンバーに、土木技術者、スポーツ生理学者、建築家などの専門家がいる強みを発揮し、グループ内部の道楽でなく、多くの人が楽しめる道楽提案となることを期待します。

### QQT

(三枝敏男)

もと万世橋街づくり協議会のメンバーの「このままではいけない、何とかしなければ」という使命感が感じられました。具体的な活動内容には不明確な部分もありますが、今までの豊富な経験を活かし、本当の意味での地域に根ざした自主的なまちづくり活動を期待しております。最低の助成額ですが他地区の「街づくり協議会」メンバー全員がこれからの活動のモデルケースとして注目していることと思います。



### 付置住宅研究会

(伊東敏雄)

学術的な調査研究そのものが、

街づくり活動ではないとはいわな  
いけれども、学会活動の純度が高  
すぎれば、テーマそのものの大切  
さとは別に、評価しにくくなる傾  
向がある。付置住宅の持つ建築計  
画的な問題点は、一般の都心集合  
住宅と特に異なる点はないように  
も思える。都心居住の誘導施策の  
一手法で、その効果を高める方策  
等への提案であれば、いい評価に  
つながる可能性はある。

### 神田探偵団

(三枝敏男)

ともすればまちづくりの視点  
のそとに置かれてしまう子供た  
ちに着眼したことに大変興味を  
もちました。将来を担ってもら  
う子供たちに神田の歴史や文化  
を口伝えしていくことは大切な  
ことですが、私の要望としては、  
「子供たちに教えてやる」からも  
う1歩踏み込んで意識調査をも  
とに「子供たちが主役で行うま  
ちづくり」を具体的に提案して  
いただきたいと思います。

### 番町文学会

(森まゆみ)

大使館や邸宅の多い旧番町地  
区からの当プロジェクトへの応  
募が少ないのが残念だ。その中

当グループ  
は番町に明  
治以降、ど  
れほど多く  
の文学者が  
住んでいた  
かを調査  
し、市民向けマップをつくりブ  
レートを設置するという。時代も  
ばらばら主義傾向も違う文学者た  
ちだが、それでも相互のつきあい  
はあったのだろうか。この地域の  
プライド・オブ・プレイスを高め  
る貴重な活動として期待される。



### ミロシティ映像情報都市 研究会 環境部会

(伊東敏雄)

街づくり活動、都市計画、建築  
計画が次世代に向けて、価値体系  
の大転換(パラダイム・シフト)を  
する必要があり、その切り口の1  
つが「情報」であることは、「共通  
の予感」だと考えられたが、コペ  
ルニクスの転換であるだけに、  
「共通の認識」にすることは至難  
の業と言わざるを得ない。それだ  
けに、具体の街づくりと関連づけ  
て提案しないと、高い評価には至  
らない。もう実績のあるグループ  
との印象もサポート(助力)の必  
要性はないのではないのか、とい

う負の評価になっていた。ほし  
い切り口だけに再挑戦してほしい。

### 花咲かじいさん

(平岩千代子)

ガーデニングを趣味とする人  
たちが集まり、花を通した心豊  
かなまちづくりを目指すエネル  
ギッシュな男女混成グループで  
す。単に花溢れるまちを目指す  
のではなく、花と心の豊かさにつ  
いてのアンケート調査や、地域  
に育つ花の調査、花の起源や  
性質を知るための勉強会や研究、  
メンバー以外からも積極的に参  
加者を募ることなども計画に含  
まれ、花によるまちづくりのプ  
ロセスを大切にしようとする姿  
勢が高く評価できます。盛りだ  
くさんのメニューですがあまり  
欲張らず、着実に成果を築くこ  
とを心がけてください。

### 都心で豊かな老後を 築く会

(伊東敏雄)

グループ名、テーマともに、今  
街づくりに求められている切実  
な問題を体現しているため、期  
待の大きかった提案である。実

施スケジュールがワークショップ  
と車椅子での道路調査に絞られて  
いた点、ややその成果に不安が  
あったのと、プレゼンテーション  
の技術が少し弱い点、高い評価に  
至らなかった原因と思われる。こ  
れは参加者全員に知って欲しいこ  
となのだが、プレゼンQ&Aは、  
実は、最終成果品の水準を、審査  
委員が予測する手段なのである。  
再挑戦が期待される。

### 都市に対する美意識 (あこがれ)の修復研究会

(伊東敏雄)

都市の「美」は言うまでもなく街  
づくりの大切なテーマである。  
しかし都市に対する「美意識」と  
なれば、もちろん都市の「美」と  
は同義ではあるが、研究活動分  
野としては、美学、哲学、あるい  
は、深層心理学の分野といわざ  
るを得ない。また動機とされて  
いる心の傷(トラウマ)も、大き  
い共感を呼ぶには至らなかった。  
実施スケジュールも十分練り上  
げられていないこと、思索中心  
の掘り下げなのではないのかと  
の印象等から、高い評価を得る  
には至らなかった。

## (財) 千代田区街づくり推進公社賛助会員一覧

(法人132社・個人57人) 1999.3.31現在

この事業は下記の会員の会費によって支えられています。

<b>〈保険関係〉</b> 大東京火災海上保険(株) 千代田火災海上保険(株) 大成火災海上保険(株) 太陽生命保険相互会社 日本生命保険相互会社 三井海上火災保険(株) 日本火災海上保険(株) 日産火災海上保険(株)	<b>農林中央金庫 東京支店</b> (株)東日本銀行 飯田橋支店 芝信用金庫 日本信託銀行(株) 中央信用金庫 太陽信用金庫 神田支店 (株)あさひ銀行本店 (株)日本興業銀行 (株)大和銀行 (株)わかしお銀行 本店営業部	<b>飛鳥建設(株) 東京支店</b> 戸田建設(株) 東京支店 (株)熊谷組 東京支店 長野建設(株) 東京本社 (株)間組 東京支店 不動産建設(株) 日比谷総合設備(株) (株)久保工 東洋建設(株) 東京支店 大成建設(株) 鉄建建設(株) 清水建設(株) 東京支店 上野事務所 三菱建設(株) 日東建設(株) 佐藤工業(株) 東京支店 (株)フジタ 大木建設(株) 三機工業(株) 鹿島道路(株) 飛鳥道路(株) 東京舗装工業(株) 関東第一支店 (株)ナカノコーポレーション 常盤工業(株)	<b>東亜建設工業(株) 東京支店</b> 高砂熱学工業(株) 東京本店 タイタン(株) 東京本社 真柄建設(株) 東京支店 (株)長谷工コーポレーション (株)増岡組 東京支店 ニューオールシステム(株) 古久根建設(株) (株)トーヨー理研	<b>〈建設設計〉</b> 日本橋興業(株) (株)山下設計 (株)松田平田 (株)レック都市地域研究所 (株)アイテック計画 基礎地盤コンサルタンツ(株) 東京支社 (株)アーバン・ウイング ツ(株) 東京支社 (株)アーバン・ウイング パシフィック・コンサルタンツ(株) (株)伊藤建築設計事務所 (株)ラウム計画設計研究所 (株)都市映像研究室 (株)日立建設設計	<b>所</b> マト設計・コンサル(株) 安田総合計画(株) (株)アール・アイ・イー (株)都市環境計画研究所 八重洲コンサルタント(株) (株)アーバン・ウイング パシフィック・コンサルタンツ(株) (株)伊藤建築設計事務所 (株)ラウム計画設計研究所 (株)都市映像研究室 (株)日立建設設計	<b>(株)そごう東京店</b> <b>〈電機・通信関係〉</b> (株)日立製作所 日本電気(株) 三菱電機(株) 三洋電機(株)
<b>〈金融関係〉</b> (株)東京市民銀行 神田支店 (株)第一勧業銀行 麹町支店 (株)さくら銀行 安田信託銀行(株) 神田信用金庫 興産信用金庫 東洋信託銀行(株) 三井信託銀行(株) (株)住友銀行 (株)三和銀行 (株)東京三菱銀行 住友信託銀行(株) 東京営業部	<b>〈建築・土木関係〉</b> 大林道路(株) 東京支店 (株)熊谷組 東京支社 西松建設(株) (株)竹中工務店 東京本店 鹿島建設(株) 三井建設(株) 前田建設工業(株) (株)大林組 東京本社 大木建設(株)	<b>〈不動産関係〉</b> (株)大京 安田不動産(株) 住友不動産(株) 秀和(株) 三菱地所(株) 三井不動産(株) 三幸エーステート(株) (株)お茶の水スクエア 森ビル産業(株) 大日本企業(株) 協永不動産(株)	<b>〈不動産関係〉</b> (株)大京 安田不動産(株) 住友不動産(株) 秀和(株) 三菱地所(株) 三井不動産(株) 三幸エーステート(株) (株)お茶の水スクエア 森ビル産業(株) 大日本企業(株) 協永不動産(株)	<b>〈ビル管理〉</b> 東京美化(株) 富士建物管理(株) 鹿島建物総合管理(株) 広告代理業 (株)イサミヤ	<b>〈販売・興業関係〉</b> (株)伊勢丹 東宝(株)	<b>〈その他〉</b> 秋葉原西口商店街振興組合 東京高速道路(株) 秋葉原中央通商店街振興組合 秋葉原商店街振興組合 (株)明正社 日本事務器(株)東京支社 ヨシモトボール(株) 神保町1丁目南部地区市街地再開発組合 (社)東京都建築士事務所協会千代田支部 丸紅(株)

## 編集・発行

平成12年2月発行

### (財) 千代田区街づくり推進公社 企画情報課

東京都千代田区九段南1-6-17 千代田会館2階 TEL.03-3262-0211 FAX.03-3262-0213

公社ホームページ <http://www2.odn.ne.jp/citystation/> e-mail: [makecity@pop17.odn.ne.jp](mailto:makecity@pop17.odn.ne.jp)